

## 〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回覧 

--	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 158 (通算 447 回)

2009 年 12 月 11 日 (金)

# 大学と高・中・小との連携戦略 — 学園総合力への教育・経営シナリオⅡ

ニューキャンパスシリーズ 43 (通算 451 回)

2009 年 12 月 21 日 (月)

# 大学法人の第 4 の機能と責務 — 社会事業体の構想力と先進学園事例

※ 延期 ※

## 大学と高・中・小との連携戦略 — 学園総合力への教育・経営シナリオⅡ

～ 附属・併設・系列・系属・提携校の実際と今後～

- ※ 大学法人の垂直連携／最新動向と戦略評価／付属校ブームの光と影／もう一つのシナリオ
- ※ [常翔学園] 法人連携の目的と経緯／合併か連携か／二法人一体運営の難しさ／連携の“先”
- ※ [早稲田大] なぜ、系列校か／多様なパターン／タテ(大学・系列校)とヨコ(系列校相互)
- ※ [立命館] 小中高大院一貫教育／附属校・提携校政策の経緯と現在／一貫教育の可能性

### ● 講師陣 ●

石塚 公康 氏 / 読売新聞東京本社 文化部記者  
伊藤 勝彦 氏 / (学) 常翔学園 経営企画室長  
土田 健次郎 氏 / 早稲田大学 副総長・常任理事  
浮田 恭子 氏 / (学) 立命館 一貫教育部長

2009 年 12 月 11 日 (金) 剛堂会館 会議室 (東京・麹町)

## 大学法人の第 4 の機能と責務 — 社会事業体の構想力と先進学園事例

～ “収益” 事業から “非営利・公益” 事業への進化～

※ 延期 ※

- ※ 新・社会デザインと担う人財／ソーシャルビジネスの多彩な展開／大学の新たな使命
- ※ [東京家政大] 産学官連携事業／家政・理科学系分野等の実践例／学生の学習意欲喚起
- ※ [文京学院大] 共生社会創造事業／地域に愛される大学／子育て支援「ふらっと文京」の実践
- ※ [東北福祉大] 地域福祉・医療事業の展開／産学官連携／次世代の“日本型福祉”への提言

### ● 講師陣 ●

中村 陽一 氏 / 立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 教授、  
経済産業省 ソーシャルビジネス推進イニシアティブ座長  
木元 幸一 氏 / 東京家政大学 学長・生活科学研究所長  
平山 許江 氏 / 文京学院大学人間学部 教授、  
保育実践研究センター (ふらっと文京) センター長  
萩野 浩基 氏 / (学) 梅檀学園常務理事・東北福祉大学学長、  
(社福) 東北福祉会理事、(医療社) 東北福祉会理事

2009 年 12 月 21 日 (月) 剛堂会館 会議室 (東京・麹町)



地域科学研究会・高等教育情報センター

[ 参加要領 ]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 158 「学園総合力への教育・経営シナリオⅡ」  
 2009年12月11日(金) 9:40~16:50  
 ニューキャンパスシリーズ 43 「社会事業体の構想力と先進学園事例」  
 2009年12月21日(月) 9:30~16:50

会場 : 剛堂会館(明治薬科大学)会議室 (東京・麹町) ※両日程、同会場です  
 東京都千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362  
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口から徒歩4分、JR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口から徒歩10分)


参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ 158 学園総合力への教育・経営シナリオⅡ	42,000円 (消費税込)	43,000円(送料、消費税込)
ニューキャンパスシリーズ 43 社会事業体の構想力と先進学園事例	41,000円 (消費税込)	31,000円(送料、消費税込) ※3講師分のみの配布

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。  
 受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 \*郵便振替: 00110-8-81660  
 口座名 (株)地域科学研究会  
 (なお、ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106  
 高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2009年 月 日

高等教育活性化シリーズ 158 学園総合力への教育・経営シナリオⅡ  
 当日参加  メディア参加  
 ニューキャンパスシリーズ 43 社会事業体の構想力と先進学園事例 ※ 延期 ※  
 当日参加  メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者 \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 請求書(要 不要)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:40 〃 11:00	<p>□ 大学法人の垂直連携における最新動向と戦略評価                      ～「付属校」ブームの陥穽／もう一つのシナリオ～                      読売新聞東京本社 石塚 公康</p> <p>1. 垂直連携の展開                      (1) 「付属校」の多様化                      (2) 垂直連携の最新動向</p> <p>2. 垂直連携にみる共通性と独自性                      (1) 戦略の共通パターンを洗い出す                      (2) ユニークな独自戦略例</p> <p>3. 「付属校」ブームの光と影                      (1) ブームを生んだ背景                      (2) ブームの陥穽</p> <p>4. もう一つのシナリオ</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:10 〃 12:40	<p>□ [常翔学園] 常翔啓光学園中・高校との一体運営の展開                      ～3大学・1高校と他法人中・高校との戦略連携～                      (学) 常翔学園 伊藤 勝彦</p> <p>1. 法人連携の目的と経緯 ～教育理念の違いを乗り越えて～                      (1) 常翔学園の中長期ビジョンと目標                      (2) 法人連携の経緯</p> <p>2. 法人連携の形態 ～“合併”か“連携”か～                      (1) 法人合併(同一法人化)のメリット・デメリット                      (2) 法人連携(別法人)のメリット・デメリット                      (3) 常翔学園の選んだ連携形態とは</p> <p>3. 二法人一体運営の展開 ～グループ法人運営の難しさ～                      (1) 法人連携のスケジュールと具体的手続き                      (2) 法人名称の変更、理事会構成の変更、人材配置など                      (3) 二法人一体運営の実態と課題</p> <p>4. 今後の方向性と展開 ～“連携”の先にあるもの～                      (1) グループ法人のメリットを生かした展開とは                      (2) 今後の方向性と展開</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:40 〃 15:10	<p>□ [早稲田大学] 系列校をめぐる諸問題と展望                      早稲田大学 土田健次郎</p> <p>1. なぜ、系列校か                      2. 系列校の多様なパターン                      3. 系列校のタテ(大学と系列校)とヨコ(系列校相互)</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:20 〃 16:50	<p>□ [立命館] 小中高大院一貫教育のダイナミズム                      ～1小・4附属中高・5提携校との教学構築の実際～                      (学) 立命館 浮田 恭子</p> <p>1. 私立中高をめぐる情勢                      (1) 公立学校優勢の中で (2) 子どもの変化と学びへの誘導                      (3) 社会の求める人材育成の視点から</p> <p>2. 立命館における一貫教育                      (1) 小中高大院一貫教育という選択肢 (2) 立命館における附属校・提携校政策の経緯と現在                      (3) 大学との連携</p> <p>3. 一貫教育の可能性と課題                      (1) 大学進学実績のみが注目される中で                      (2) 国際水準で見たときの日本の初等・中等教育                      (3) 日本の教育のこれから</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>

時間	講義項目
9:30 } 11:00	<p>□ <b>社会デザインのなかでのソーシャルビジネスからみた大学の社会的役割</b>                      ～教育研究改革・国際化戦略・社会連携とつなげつつ～                      立教大学 中村 陽一</p> <p>1. 21世紀社会デザインとソーシャルデザイナー                      (1) 社会デザインとは何か (2) 人材像としてのソーシャルデザイナー ～経験知・専門知・市民知の回遊と複合</p> <p>2. ソーシャルビジネス (SB) の現状と「日本を変え、世界を変える力」への期待                      (1) (コミュニティビジネス・社会的企業を含む) SBとは?                      (2) 日本のSBの現状、担い手としての社会起業家、可能性と課題 (3) アジアと世界のSBに学ぶ</p> <p>3. SBからみた大学の社会的役割                      (1) 教育研究改革へのインパクト (2) 国際化戦略へのインパクト                      (3) 社会連携とUSR (大学の社会的責任) (質疑応答)</p>
11:10 } 12:40	<p>□ <b>[東京家政大] 産学官連携プロジェクトの多彩な展開</b>                      ～家政・社会科学・理科学系の分野で～                      東京家政大学 木元 幸一</p> <p>1. 産学官連携プロジェクトの取組み～時代の要請にこたえて                      (1) 実践教育の場としての生活科学研究所 (2) 本学の幅広い専門領域を網羅したメニューの提示                      (3) 学内の研究活動の活性化と学生の学習意欲の高揚のために                      (4) 大学と産業界、自治体、非営利団体との連携で社会に貢献</p> <p>2. 産学官連携事業の実践例                      (1) 省資源形微生物膜バイオリアクターによる汚濁水浄化システム                      (2) 国内初の網羅的遺伝情報を活用したキノコ栽培にアプローチ                      (3) 江戸時代酒米の復活と商品開発に取り組む (4) 避難所生活をする食事制限者のための備蓄非常食への提言                      (5) 食育の啓蒙活動のための「食リンピック」 (6) 産学官連携による町興し</p> <p>3. 今後の展開 (質疑応答)</p>
13:40 } 15:10	<p>□ <b>[文京学院大] 共生社会創造を図る地域貢献活動の展開</b>                      ～人間学部の教育理念を具現化する～                      文京学院大学 平山 許江</p> <p>1. 地域に愛される大学をめざして                      (1) 目的は学生の教育活動…学生ニーズ、大学ニーズを基点にする                      (2) 寄生ではなく地域と共生する…コミュニケーション・ネットワークの形成                      (3) 大学資源の有効活用…保育・福祉・心理の学科の知的財産を生かす                      (4) 地域ニーズに沿った事業…大学とともに町が活性化してこそ貢献</p> <p>2. 子育て支援施設「ふらっと文京」の実践例                      (1) 保育を目指す学生にとっての学びの場…体験実習や良質な保育環境の提供                      (2) 子育て支援事業の本質…子育て文化を発信する「保育実践研究センター」                      (3) 持続可能な共生社会…恒常的な評価を維持する理念の確立                      (4) 保育者像における共生理念…利用者すべてが主体的に</p> <p>3. さらに展開をめざして                      (1) 継続は創設よりも難題…理念を形骸化させないための後継者の育成                      (2) 非営利・公益の利点と課題…モデル事業としての収益をあげる                      (3) 磐石な組織づくりに必要な費用…理想や熱意だけでは維持できない                      (4) 大学人が抱える問題…研究と授業と業績のはざまで (質疑応答)</p>
15:20 } 16:50	<p>□ <b>[東北福祉大] 社福法人・医療法人社団の15年余の事業展開と教育連携</b>                      ～仙台国見・石巻挑生における福祉・医療エリア形成の“行学一如”～                      東北福祉大学 萩野 浩基</p> <p>1. 地域福祉事業への着手と展開                      (1) 社会福祉法人設立 (1996年) の経緯 (2) 「せんだん」の4福祉施設への拡大                      (3) 認知症介護・研究・研修仙台センターの活動</p> <p>2. 福祉に必要な医療事業の展開                      (1) 医療法人社団設立 (2000年) の経緯                      (2) 大学附属病院 (140床) の開設 (2009年) ～精神障害者支援部門・児童思春期病棟の設置～</p> <p>3. 予防福祉・心身健康の研究事業の展開                      (1) 感性福祉研究所・特別支援教育研究センターによる探求 (2) 産学官連携の予防福祉健康増進センターの活動</p> <p>4. 次世代の“日本型福祉”への提言                      (1) “福祉”哲学の世界的スケールでの追求                      (2) “あるべき不安なき”社会福祉とは ～介護保険制度の導入に関わった一人として～ (質疑応答)</p>